
第 110 回関西スペイン語教授法ワークショップ(TADESKA) 開催の報告

CX Reunión del Taller de Didáctica de Español de Kansai

日時: 2017 年 9 月 9 日(土) 10:30 - 12:30

場所: 関西学院大学梅田キャンパス(ハブスクエア) 1402 教室教室

担当者: 額田有美

「GIDE(2015)『スペイン語学習のめやす』を利用して所要時間 20 分の教案を作る

-グループで旅行計画を立てることをとおして、意図・願望・好みを表現するための「20 分教材」案 (テーマ 4: 旅行)-」

* Fecha y hora: sábado, 9 de septiembre de 2017, de 10:30 a 12:30

* Lugar: Universidad Kwansei Gakuin, Campus de Umeda "K.G. Hub Square", Aula 1402

* Encargada: Yumi Nukada

* “Elaboración de unidades didácticas de aproximadamente 20 minutos utilizando

"Un modelo de contenidos para un modelo de actuación"(GIDE 2015):

Expresar y preguntar por intenciones, deseos, gustos y preferencias a través de una actividad de planear un viaje en grupo

(Tema 4: Los viajes)”

【参加者】10 名(発表担当者を含む)

【発表の内容】

パワーポイント(以下のとおり)および配布プリント(観光地パンフレットとワークシート)を用い、次の流れで行った。

- (1) 観光地のパンフレットを見て、3つの質問に答える
- (2) 中米諸国のうち訪ねたい場所やそこで何をしたいのか調べる
- (3) 自分が訪ねたい場所やそこで何をしたいのかをグループメンバーに伝える
- (4) グループごとに決定した訪ねる場所やそこで何をやる予定なのかを他のグループに発表する
- (5) 他のグループの発表に対してコメントする

なお、(3)~(5)については定型表現を2~4つほど事前に提示した。



<p>はじめに</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会文化項目 (中米諸国の) 観光地 語用論に関する項目 話題ととらえられる新着の和らげ表現 機能項目 (¿qué se enseña?) 意図・願望・好みについて表現する・尋ねる、意見を言う 語彙項目 (cómo se enseña) ホテルの部屋、交通手段、訪ねる場所 文法項目 直接法現在の活用と用法 (規則動詞・不規則動詞) <p>4</p>	<p>全体の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> 観光地のパンフレットを見て、質問に答えよう (28-30) 訪ねたい場所やそこで何したいのかを調べよう (31) 自分が訪ねたい場所やそこで何をしたいのかをグループメンバーに伝えよう (32) グループごとに決定した訪ねる場所やそこで何をやる予定なのかを他のグループに発表しよう (33) 他のグループの発表に対してコメントしてみよう (34) <p>5</p>	<p>1. 観光地のパンフレットを見て、質問に答えよう</p>  <p>質問: これはある観光地への都市パッケージツアーのパンフレットです。観光地の名称は何でしょう? 所在する国はどこでしょう? (スペイン語で記入しましょう。)</p> <p>質問: あなた方は3名のグループです。飛行機を利用して3日4日のコースに申し込みたいと考えています。費用はいくらかかりますか? (スペイン語で読みましょう。)</p> <p>質問: このコースにも宿泊先の食事と飲み物がついています。どんな飲み物を追加料金なしで注文することができますか? (3つ以上挙げてください。)</p> <p>6</p>
<p>1. 観光地のパンフレットを見て、質問に答えよう</p>  <p>質問: 観光地名 () 国名 ()</p> <p>質問: 3日4日コースの費用 () 米ドル</p> <p>478 cuatrocientos sesenta y ocho dólares</p> <p>Ron Flor de Caña, cervezas nacionales, jugos naturales, café, agua, gaseosas, etc.</p> <p>7</p>	<p>2. 訪ねたい場所やそこで何したいのかを調べよう</p>  <p>グアテマラ、エルサルバドル、ニカラグア、コスタリカ、パナマ、バハマ</p> <p>よくはマヤ文明が栄えたグアテマラ、コーカソンのメカであるエルサルバドル、コパン遺跡で有名なグアテマラ、羅漢やラム酒等の高級嗜好品の産地として知られるニカラグア、地球上の主権国種の5%が主意思しているコスタリカ、国際的な観光地であるバハマを指すバハマ</p> <p>8</p>	<p>3. 自分が訪ねたい場所やそこで何をしたいのかをグループメンバーに伝えよう</p> <p>- ¿Adónde quieres ir? 君はどこへ行きたいですか?</p> <p>- ¿Qué quieres hacer allí? そこで君は何をしたいですか?</p> <p>- Voy a 私は…するつもりです。</p> <p>- Quiero 私は…したいです。</p> <p>- Tengo pensado 私は…と考えています。</p> <p>- Me gustaría 私は…したいのですが。</p> <p>ir a Costa Rica. コスタリカへ行く visitar el Parque Nacional Manuel Antonio. マヌエルアントニオ国立公園を訪ねる probar "casado." カサドを食べる</p> <p>9</p>
<p>4. グループごとに決定した訪ねる場所やそこで何をやる予定なのかを他のグループに発表しよう</p> <p>- Vamos a 私たちは…するつもりです。</p> <p>- Queremos 私たちは…したいです。</p> <p>- Tenemos pensado 私たちは…と考えています。</p> <p>- Estamos pensando en 私たちは…を考えているところです。</p> <p>- Estamos considerando 私たちは…を考慮中です</p> <p>10</p>	<p>5. 他のグループの発表に対してコメントしてみよう</p> <p>- Creo que es una buena idea 私は…が良いアイデアだと思います。</p> <p>- Me parece muy interesante 私は…がとても興味深いと思います。</p> <p>- Prefiero 私は…の方がいいです。</p> <p>ir a Costa Rica. コスタリカへ行く visitar el Parque Nacional Manuel Antonio. マヌエルアントニオ国立公園を訪ねる probar "casado." カサドを食べる</p> <p>11</p>	<p>¡Muchas gracias por su atención!</p> <p>12</p>

【参加者からいただいた主なコメント】

《スペイン語表現や語用に関するコメント》

・『スペイン語学習のめやす』の「提示モード」と「対人モード」について、前者は各人が一方向に「話す」だけでも成り立つのに対し、後者は各人が双方向で「話し合う」ことを指す。今回の授業では「対人モード」が弱いのではないか。

➡訪ねたい場所やそこで何をしたいのかをグループ内で話し合う際、学生間でスペイン語でのやりとりを2~3往復できるように誘導する工夫を加えたい。例えば、モデル会話文の提示や、相手の提案に対する同意や不同意を示す表現の提示など。

・グループ内で話し合う際、まず各人の意図・願望・好みを提示し、次にそれらを踏まえてグループ内で合意を形成するという流れがあるので、その流れのなかで使用できるようなスペイン語表現を追加して提示すると良い。

➡各人の意図・願望・好みだけでなくその理由も伝える表現 (porque や es que など) や、相手の主張に対する婉曲的な非同意の表現なども加え、より実用的なスペイン語表現の教示に努めたい。

《文化や社会に関するコメント》

・中米各国の基本情報をより丁寧に示した方が良い。観光地情報ないしパンフレットを中米各国について A4 一枚くらいで提示した方が良い。

➡今回は、ホンジュラス以外の国については地図上で示し、国ごとの特徴を捉えた一文を紹介

するにとどまった。予習として学生に事前に調べて来てもらう、あるいは授業冒頭で中米各国を紹介するビデオを見せるなど工夫を加えたい。

・中米各国間ないしその他の国(スペインや南米諸国など)との比較において、同じものを指すにも関わらず異なる単語が用いられるケースなどを紹介する方が良い。

➡今回は、zumo と jugo しか言及できなかったため、他の単語についても加えるようにしたい。

《その他のコメント》

・よみもの(講読)と今回の教案とを有機的に関連させて授業計画を立てるという方法をご提案いただいた。

・ビデオや写真など複数の媒体をバランスよく用いて学生へのインプットを行うと同時に、学生自身がスペイン語でアウトプットする際にこれらの媒体をどのように利用するのかについても教示すると良いのではないかとご提案いただいた。

【発表担当者の感想】

今回の教案では、スペインやメキシコなどと比較すると、そもそも具体的なイメージが抱かれにくい、過度にネガティブなイメージを持たれる傾向にある中米諸国を取り上げることによって、これらの国々について学びつつ、同地域の観光地への仮想的な旅行計画を立てるというアクティビティをとおして、意図・願望・好みを表すスペイン語表現を教示することを目的とした。

グループワークを中心にした教案であったものの、各学生のインタラクティブなコミュニケーションを促しやすいというその利点を活かしきれなかったように思う。学生間での自然な会話のやりとりが続くような工夫を加える必要性を感じた。

中米諸国への既存のイメージ(往々にしてネガティブなイメージ)とは必ずしも一致しない観光地の様子を提示する内容ではあったものの、反対にポジティブな部分だけを強調しているという印象を与えてしまうこともあるのではないかと感じた。既存のステレオタイプを相対化することのみを意図しており、新しい別のステレオタイプをつくることは全く意図していないので、この点を冒頭で明示しておく方が良いと感じた。